

刑事訴訟法 (配点 40 点)**【問題】**

以下の【事例】を読み、各【設問】に答えなさい。

【事例】

令和7年6月10日18時頃、H市内のホテルSの従業員から、警視庁H警察署に対し、同ホテル302号室に宿泊している甲が大麻らしいものを吸っている旨の通報があった。H警察署司法警察職員Kらが甲の前科照会をしたところ、大麻所持の前科があったため、Kらは、同ホテル1階ロビーにて張り込みを開始した。同日19時頃、甲が同ホテルに帰ってきたが、制服のKらを見た瞬間、引き返してホテルを出ようとしたため、Kらは甲を呼び止めて職務質問を開始した。

甲がチャックなどで開口部が閉まらない形のトートバッグを所持していたことから、Kらは、その中身を見せるよう説得をしたが、甲は頑なにこれを拒んだ。20分ほど説得しても甲がバッグを見せなかったことから、①Kは、甲がバッグを右手から左手に持ち替えようとした瞬間に、バッグの開口部付近を少し引っ張り、その隙間から中身を確認した。すると、トートバッグの入り口付近にあるミニポケット部分に大麻と思われる植物片が入っているのが見えた。Kが、「ポケットに入っているものは大麻ですよ？出してください。」と言うと、甲が渋々バッグから大麻を取り出したことから、同日19時30分頃、同ホテル1階ロビーにおいて甲を大麻所持の現行犯で逮捕した。

その後、甲が宿泊先の302号室に所持品を取りにいきたい旨申し出たため、Kらは、甲とともに302号室へ向かった。Kらは、同所にも大麻所持に関する証拠が存在する可能性が高いと考え、②同日19時45分頃、302号室内を捜索した。その結果、大麻吸引の際に使用と思われる巻紙や小型スケールなどが発見されたため、これらを差し押さえた。

【設問1】 (配点 20 点)

Kの下線部①の行為の適法性について論じなさい。

【設問2】 (配点 20 点)

Kらの下線部②の行為の適法性について論じなさい。

以上